

長崎ほいくだより

発行：一般社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

No. 221
2013.7発行 谷川和啓
編集 人 人 人
購読 料 一 路 部 彦
55円

「豊かな長崎を創る」のために必要なもの、それは「夢」であり、「未来」であると考えます。日々の活動や一つのイベントによって多くの人とつながることができ、私達が人と人をつなぐ「ハブ」のような存在になる

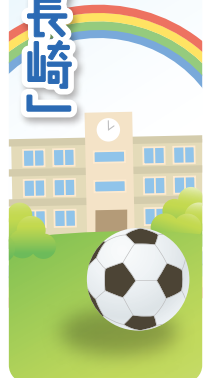
「豊かな長崎を創る」ために必要なもの、それは「夢」であり、「未来」であると考えます。日々の活動や一つのイベントによって多くの人とつながることができ、私達が人と人をつなぐ「ハブ」のような存在になる

「豊かな長崎を創る」ために必要なもの、それは「夢」であり、「未来」であると考えます。日々の活動や一つのイベントによって多くの人とつながることができ、私達が人と人をつなぐ「ハブ」のような存在になる

1 スポーツで豊かな長崎を創る

「スポーツで豊かな長崎を創る」

V・ファールン長崎



1 スポーツで豊かな長崎を創る

私達V・ファールン長崎は「スポーツで豊かな長崎を創る」を基本理念として、サッカーというスポーツで長崎に元気や勇気、活力といったものを与えるべく日々活動しております。

今から8年前の2005年に私達のクラブは立ち上がったのですが、子どもと同じように立ち上がるまで2年という歳月を費やし、その間も、そして立ち上がった後も多くの人に支えられ、導かれ勇気づけられて現在があります。

「豊かな長崎を創る」ために必要なもの、それは「夢」であり、「未来」であると考えます。日々の活動や一つのイベントによって多くの人とつながることができ、私達が人と人をつなぐ「ハブ」のような存在になる

「豊かな長崎を創る」ために必要なもの、それは「夢」であり、「未来」であると考えます。日々の活動や一つのイベントによって多くの人とつながることができ、私達が人と人をつなぐ「ハブ」のような存在になる

2 ホームタウン活動

クラブをより身近に感じていただくため「ホームタウン活動」というものに取り組んでおります。活動内容としては「いきいきキッズ」「GO! GO! ヴィヴィくん」夢教室」といった事業や、地域において開催されている各種イベントへの参加などを行っております。

「いきいきキッズ」とは、元プロサッカー選手で現在



ることで、地域社会において必要不可欠な存在になることができると思っています。感や仲間と協力することの大切さなどを感じてもらえるような活動です。

3 県民に愛されるクラブ

V・ファールン長崎のチーム名には「TORIA ヴィトリリア（ポルトガル語で勝利）」「REDE プレータ（オランダ語で平和）」「VANDERFAAREN（オランダ語で航海）」の3つの意味が込められています。

宮田 伴之



株式会社V・ファールン長崎代表取締役社長

*****プロフィール*****
生年月日:1957年4月2日(56歳)
出身地:長崎市
略歴:
1976年 長崎北高等学校卒業
1981年 福岡大学卒業
同年4月 長崎銀行 入行
2011年1月 長崎銀行 退行
2011年1月より 現職
趣味 読書

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆

「夢」や「希望」となる必要があると考えております。多くの子どもの笑顔と皆



今年小学校1年生になった息子。入学と同時に剣道を習い始めました。礼に始まり、道場訓の唱和。稽古となり、最後は礼に終わります。▼この道場の方針でしょうか、初心者の子は最初、1人の先生に指導を受けていますが、そのあとは、たくさん先生のところに自分で稽古をつけてもらうところでした。そして、稽古が終わったあとは、先生に礼、神前に礼、互いに礼、保護者に礼を行い、拍手をして一生懸命に稽古をしたことを称えあうことでした。更に最後は先生方の元に直接行き「ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝え、一言交わして握手をするというものでした。息子も稽古あとのこの一連のことが嬉しいみたいで、全部の先生のところを積極的にまわる姿を見ると私の方まで嬉しくなります。剣道という厳しい印象がありますが、素晴らしいコミュニケーションだなあと感動しました。▼剣道という一つのことを通して心身の鍛錬だけでなく、感謝の気持ちを持つことや、人との関わりなども教えていたことで、息子はいろいろなことを学んでいるなと感じました。▼保育園もまた、1つのところで子ども達は集団生活のなかで遊びのなかでいろいろなことを学んでいます。一番重要な人間形成の土台を学び、人に対する愛情を学び、自主性・協調性・道徳性を学び、基本的な生活習慣を学びます。様々な経験を通して、ものすごい速さで成長していく子ども達。子ども達から目が離せない！楽しみで仕方ありません。(貴)

長崎ほいくだより

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

購読料 一 部 55円

続きは、お買い求めいただきご購読下さい。
お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介します

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

● 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

● ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

● 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ であい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え?!絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。